

年 組 名前：



桑原久美子
井村 賢紳

安来節の「どじょうすくい」を踊る「どじょうこの会」メンバー
―南アルプス・下今井ふれあいセンター―

どじょうすくい笑顔



南アの住民グループ20年

南アルプス市などの住民でつくる「どじょうこの会」(野呂瀬正子会長)は20年にわたり、福祉施設などで島根県安来市発祥の民謡「安来節」に合わせて踊る「どじょうすくい」を披露している。仮装しながら踊ることもあり、観覧者からは大きな笑い声が響く。野呂瀬会長は「見てくれた人が笑顔になればうれしい」と話している。
〈井村賢紳〉

福祉施設で多彩な演目

野呂瀬会長らが2003年に当時市商工大会事務局長だった有泉大さん(81)市川三郷町中山に踊りを教わったことをきっかけに会を結成。現在は66〜84歳の11人で活動する。
安来節のほか、「一休さん」の僧侶姿に扮して踊ったり、制服を着て「せんせい」を披露したりするなど、さまざまなパフォーマンスを用意。野呂瀬会長は「面や仮装をすることで『ほか』になれる。表現を出し切って楽しませたい」とほほえむ。
新型コロナウイルス感染拡大の影響で、20年2月に活動を休止するまでは、一日に2カ所の福祉施設で踊ることもあったという。
コロナ禍も感染状況を見ながら月に1回は有泉さんの指導下で練習を重ね、今年9月に本格的に活動を再開した。
会は今月15日、同市下今井ふれあいセンターで、同所の高齢者でつくる「下今井ふれあいサロン」のメンバー約30人に踊りを披露。「島のブルース」「孫」など9曲を踊り、サロンメンバーはパフォーマンスに大声で笑ったり、大きな拍手を送ったりした。野呂瀬会長は「自分たちも楽しまなくては伝わらない。面の下はいつも笑顔で踊っている」と話した。

(2023年12月20日付 山梨日日新聞 20面)

問1 南アルプス市などの住民でつくる「どじょうこの会」が、福祉施設などで「どじょうすくい」を

披露しています。どこ発祥の何という民謡に合わせて踊りますか。

発祥地： 曲名：

問2 「一休さん」や「せんせい」のパフォーマンスの時には、どのような姿で踊りますか。

一休さん： せんせい：

問3 野呂瀬会長は、観ている人を楽ませるために、どのように踊っていると話していますか。

.....